

令和元年7月5日(金)

太田市議会  
議長 久保田 俊 様

公明クラブ代表 星野一広

## 会派行政視察報告書

- 1 期 間 令和元年7月3日(水) 1日間
- 2 視 察 先 茨城県常総市
- 3 視察事項 1. 常総市議会「みんなでタイムラインプロジェクト」について
- 4 派遣議員 3名 星野一広、高橋えみ、前田純也
- 5 視察概要

### ○常総市の概要

- ・面積 123.64km<sup>2</sup>
- ・常住人口 59,995人(平成31年4月1日現在)
- ・平成18年1月1日 石下町を編入合併、市の名称を「常総市」
- ・令和元年度 40,616千円
- ・議員定数：22人
- ・政務活動費交付額 議員1人当たり月額1万円

### ○視察事項

- ・みんなでタイムラインプロジェクトについて

#### <概要>

平成27年9月の関東・東北豪雨における災害後、「鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」において、犠牲者ゼロ等の目標にむけての取組方針を平成28年5月11日決定。その具体策のひとつとして「みんなでタイムラインプロジェクト」を推進した。

マイ・タイムラインは、住民一人ひとりのタイムラインで、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理しとりまとめるもので、洪水

は自然現象であり、マイタイムラインがあれば常に安全ということではなく。その状況等を考慮し判断していくことも留意していく必要があるが、時間的な制約が厳しい洪水発生時、行動のチェックリストとして、判断のサポートツールとして活用することで、「逃げ遅れゼロ」を目指している。

平成30年4月に障がい者の防災を考える連絡協議会と常総市が発行した「我が家の防災ガイドブック」にマイ・タイムラインの記入ページを掲載し取組を開始、平成30年6月に行われた「赤プル(常総市出身タレント)と作ろうマイ・タイムライン」というイベントを開催、市内小中学校一斉防災訓練では平成29年度6校、30年度14校で取り組んだ。

また、依頼のあった講座で住民(民生委員、自治会等)においても230人が作成しており、今後も広く市民に周知していきたいとのことでした。



#### <その他・質疑等>

逃げキッド(マイ・タイムライン検討ツール)を実際に使用しマイ・タイムラインを作成・検討し、一人ひとりが考えながら学ばせていただいた。また、災害時の質問に対しては、情報伝達や共有の難しさ、電話の対応に追われ具体的な対策が困難な状況もあったこと、ペットの問題、避難所の運営については市職員のみでの運営が困難であり住民参加や公の役割分担の困難な状況のお話を質疑の中で伺うことができた。

## 6 所 感

平成27年9月の豪雨で常総市内の鬼怒川が決壊、市内でも3ヶ所で溢水・越水が生じたほか、堤防の漏水や護岸崩壊などが発生。死亡2名、

重軽傷44名。住宅全壊53件など甚大な被害を受けた常総市において推進している自助のひとつの形といえる「マイ・タイムライン」の政策について視察。発災当時の貴重な話やご苦労等々伺うことが出来ました。

太田市においても水害がどのように起きてくるのかわからない気象状況と考えたとき、大変貴重な視察が出来たのではないかと感想を持ちました。この視察の内容を精査・検討を太田市ではどうだろうかとの視点で、自助・共助・公助の役割と災害において「犠牲者ゼロ」へ向けての施策の展開を平時である今の時点より進めることが重要であるとの感想を持ちました。

